

令和7年度9月卒業式 学長告辞

猛暑日が続いた夏もようやく終わり、先週あたりから少しずつ秋めいてきました。キャンパスの様々な木の実も落ち始め、もうしばらくすると木々の葉も色付き、鮮やかな景色に変わっていくことでしょう。

卒業・修了を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

また、今日まで皆さんを支えてこられたご家族や指導に関わられた皆様、様々な形で支えていただいた事務職員の皆様も喜んでいらっしゃると思います。心からお祝いを申し上げます。

今般では、教員養成課程4名、教育支援専門職養成課程1名に学士の称号が、大学院教育学研究科修士課程日本型教育グローバルコース1名に修士の称号を授与いたしました。

皆さんの新たな旅立ちにあたり、愛知教育大学を代表して、祝福と期待の言葉を述べさせていただきます。

学部を卒業する皆さんは、在学期間が4年半から8年を超える方までいらっしゃいますが、それぞれ普通の学生生活では体験できない辛いことや喜ばしいことがあったのだろうと推察します。その過程で、皆さんも努力されたことと思いますが、様々な方に支えていただき今日の日を迎えられたことと思います。明日から社会人となりますが、今度は皆さんがその経験を活かし、支えることができるような力量を磨いてほしいと思います。先は長いので、目標を定めて焦らず、一步一步前進してくれることを期待しています。私たちは応援しています。

修士課程を修了される方は、最初は、ショートステイで本学を訪れたと伺っています。ベトナムの大学で教員をされているそうで、働きながら異国での修士取得は大変だったことと思います。研究テーマは、「日本の学校文化における神道や仏教の影響に関する研究」と聞かれています。大変興味深い内容だと思います。帰国されたら研究成果を広めていただくとともに、後輩の皆さんに本学への進学をぜひ進めてください。ますますのご活躍を期待しています。

さて本学は、一昨年、創基150周年を迎えました。1873年に名古屋市に開設された「愛知県養成学校」が本学の前身です。大学となっても76年目を迎えています。この間、約7万人もの教員を輩出し、愛知県を中心として教育の屋台骨を支えてきました。今後も日本の教員養成の中核大学としての役割を果たしていきたいと思っています。その一つに、私が

学長に就任し、目指す大学の姿を「子どもの声が聞こえるキャンパス、地域から頼られる大学」というキャッチフレーズとして掲げ、その実現のために、令和 3 年 3 月に策定した本学の中長期ビジョン「未来共創プラン」があります。現在、実行に移しているところです。卒業・修了後、それぞれの立場で協力いただきたいと思います。

最後に、本学での学びを礎に、健康に留意され、大きく羽ばたかれることを祈念いたしまして、卒業・修了にあたっての告辞といたします。

令和 7 年 9 月 30 日

愛知教育大学長

野田 敦敬